

| | | |
|-----|---------------------|----------------------|
| 月 報 | 日本キリスト改革派 横浜中央教会 | 9 月 号 2012年09月09日 |
|-----|---------------------|----------------------|

聖書を読もう

C.K

8月半ば頃、「ガリラヤのイエシュー」（山浦玄嗣礼訳）なる本を読みました。読み始めて気付いた事は、翻訳本である事、そして、今まで読んだ聖書や関連する読み物と趣の少し違う事でした。しかし、どの様に読み返しても私どもの用いている「新共同訳聖書」と同じ内容を伝えようとする本でした。

ウェストミンスター小教理問答の問三は、『聖書はおもに、何を教えていますか。』の問いに、答『聖書がおもに教えている事は、人が神について何を信じなければならないか。また、神は人にどんな義務を求めておられるか、ということです。』と教えています。

ウェストミンスター大教理問答三の「聖書とは何か」の章、問三で、『神のみ言葉教とは、何であるか。』との問いに、答『旧・新約聖書が、神のみ言葉、信仰と服従のただ一つの基準である。』教えています。そして、問五は、『聖書はおもに何を教えるか。』との問いに、『聖書はおもに、人間が神について何を信じなければならないか、また、神が人間に求められる義務は何であるか、を教える』と教えています。

ウェストミンスター信仰告白1章二は、聖書の各目録を挙げ、最後に『これらはみな、神の靈感によって与えられており、信仰と生活の基準である。』と告白しています。四において、『聖書の権威は、どの様な人間や教会の証言にも依拠せず、（真理そのものであり）その著者であられる神に、全く依拠する。従って聖書は、神のみ言葉であるという理由から、受け入れられなければならない。七において、『聖書の中にある全ての事柄は、それ自体で一様に明白でもなく、またすべての人に一様に明らかでもない。しかし、救いのために知り・信じ・守る必要のある事柄は、聖書のどこかの箇所です。非常に明らかに提出され、開陳されているので、学識ある者だけでなく、無学な者も、通常の手段を正当に用いるならば、それらについての十分な理解に達する事が出来る。』と告白しています。九において、『聖書解釈の無謬の規準は、聖書自身である。従って、どの聖句の（多様ではなくて、一つである）真の完全な意味について疑問のある場合も、もっと明らかに語る他の箇所に困って探求し知らなければならない。』

要するに、聖書は通常の手段を正当に用いて自ら読み、神様が私達人間に求めておられる信仰と生活の基準を学ぶ事を求めています。自ら良く読む事により共同礼拝をより豊かにし、礼拝の恵み・祝福が与えられます。

今から3年程前になるでしょうか。天王町の駅前のスーパーで、個人の読書会のコピーを撮っていた時、中年の女性に声を掛けられました。

近くの公民館で月一回、日曜日の夕方から小さな文学会があり、自分の作品を全員で合評し、一年に一度冊子にして各図書館や仲間にするもので、聞くだけでも有意義だからぜひ、と誘われ行って見て驚きました。

「季節感もない、点や丸のつけかたも違う。エッセイでもないし、小説でもない、ゆとりのない作品だ」という厳しい批評が続いていました。私の知らない事が多いのでメモを取り、そっと抜け出そうとすると編集長から「ぜひ書いてみなさい」と言われ、咄嗟に「日常的なクリスチヤンの生活を書いても良いのですか？」と言ってしまいました。さあ大変、後悔をしましたが『御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても、悪くても励みなさい』(テモテへの手紙=, 4・2)の聖句が頭をよぎりました。四苦八苦しなながら、一年目は海外駐在生活を、二年目は100名の学生と過ごした学生寮の生活を書きました。文学的にはまことに粗末でしたが、早速「キリスト教のご利益はなんですか?」「イエスキリストの奥さんはマグダラのマリアでしょ?」等々質問が出てきましたので、立石章三著「こども教理問答」をお渡しして、最後まで読んでもらい感想を聞かせていただきました。「十戒は理解出来るけど復活と聖霊は難しい」「聖霊は一度経験してみたい」などの感想でしたので、ぜひ教会に来てくださるよう全員に教会案内をお渡しして待つことにしました。

次回はもっと沢山書きなさい、との合評なので、おこがましいけど横浜中央教会の、めぐみの中の日常を許可をいただいて書いてみる事にしました。

夫の病気の後教会を探し、大きな世界観の中で、あくまでも聖書にもとずいた神の愛が豊かに伝わってくる説教に魅せられて足を止め、一日の終わりの静かな夕礼拝で、心を鎮め、夕方の讚美歌も歌える幸せを味わって7年が経ちました。礼拝の説教テープは翌日夫と共に聞き、其の後教会に来れなくて『神の言葉を慕い求めている人』に届け、360本のテープが行き来、していてとても感謝です。

先日、私の無理なお願いの為、礼拝の奏楽で失敗をしてご迷惑をお掛けしてしまいました。年甲斐もなくショックでしたが、殆どの方が「勇気をもらえて有難う、私も頑張ってみます」と言ってくださり、思いがけず、ほのぼのとした暖かさに満たされたのでした。

知恵もなく、能力もない者ですが、日々めぐみの中に守られている様子を書きとめてみたい、と思っております。お力をお与えくださいますように。